

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
吉田学園動物看護専門学校	平成14年11月21日	高 悦夫	〒065-0016 札幌市東区北16条東5丁目4番7号 (電話) 011-712-1633			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人吉田学園	昭和53年10月31日	吉田 松雄	〒060-0063 札幌市中央区南3条西1丁目15番地 (電話) 011-272-6070			
目 的	本学科は、高等学校教育の基礎の上に動物看護に関する知識及び技術を教授するとともに人と動物のふれあい・きずなの理念を大切に、豊かな心で動物と接することができる有為な人材の育成を図り、教育を行うことを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・教養	専門課程	動物看護学科	2年(昼)	2,416時間 (又は単位)	平成17年文部科学省告示第30号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1,174 時間	0 時間	0 時間	1,242 時間	0 時間	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
144人	88人	8人	12人	20人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について ・成績評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし単位修得を認める。 ・評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。	
長期休み	■学年始め：なし ■夏 季：7月23日～8月19日 ■冬 季：12月24日～1月10日 ■学 年 末：3月17日～3月31日			卒業・進級条件	・教育課程の定めるところにより、教育指導計画に従って履修しその成果が満足と認められた場合。 ・加えて卒業は修業年限以上在学した場合。	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 ・クラス担任制をとり早期段階で注意喚起・面接指導を実施。必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。			課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動 (有・無)	

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界 北海道大学 動物医療センター 円山動物病院 厚別中央通どうぶつ病院 八雲動物病院 ユニ動物病院</p> <p>■就職率 96.7%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合87.8%</p> <p>■その他（任意）</p> <p>（平成27年度卒業者に関する平成28年5月時点の情報）</p>	主な資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> ・動物看護師 ・愛玩動物飼養管理士 ・認定トリマーライセンス ・認定看護グループングライセンス ・社会常識能力検定 ・エクセル検定 <p>他</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者5名 ■中退率7.6%</p> <p>平成27年4月1日在学者65名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者60名（平成28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更、学校生活不適應、経済的困窮</p> <p>■中退防止のための取組 （学業不振者） 単位未取得になる可能性が高い者には補填授業等を行い、未取得者を増加させない取り組みをしている。 （学校生活不適應者） クラス担任等が細目に学生個々人に目を配り、生活の変化があった場合にはすぐに個別面談等を行う等、怠惰な学生を減少させる取組をしている。</p>		
ホームページ	URL: http://www.yoshida-doubutsu.jp/		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

文化・教養分野教育課程編成委員会は、文化・教養分野における推薦学科等において、実践的かつ専門的な職業教育を実施するため、企業等との連携を通じ必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成（授業科目開設・授業内容・実施方法の改善・工夫等）に活かすことを基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
木村 真	北海道小動物獣医師会 副会長
今道 昭一	きたのさと動物病院 院長
高 悦夫	学校法人吉田学園 吉田学園動物看護専門学校 校長
菊池 徳雄	学校法人吉田学園 吉田学園動物看護専門学校 副校長
菅 健悟	学校法人吉田学園 吉田学園動物看護専門学校 部長
池田 麻美	学校法人吉田学園 吉田学園動物看護専門学校 教員

(開催日時)

第 1 回 平成 28 年 8 月 29 日 13:30~14:30

第 2 回 平成 29 年 2 月予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

事業委託契約書による連携を基本とし、実践的かつ即戦力となり得る技術習得を目指すために連携を行うもの。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
総合臨床実習Ⅱ	講義・学内実習で学んだ知識と技術を基に、実務経験を通して総合的な動物看護、動物医療が実践できる為の基礎能力を習得する。	まえたに動物病院 表参道ペットクリニック 高橋動物病院 もんべつ動物病院 中畑動物病院

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員は、次に掲げる各研修を通し、現在就いている業務又は将来就くことが予想される業務の遂行に必要な知識・技術・技能等を修得するとともに、その他その遂行に必要な能力・資質等の向上を図ることを基本方針とする。

- ・教職員研修会
- ・専門学校教育研修会
- ・新入職員研修
- ・階層別研修
- ・外部研修等（学会等を含む）

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
木村 真	北海道小動物獣医師会 副会長
今道 昭一	きたのさと動物病院 院長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.yoshida-doubutsu.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.yoshida-doubutsu.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 動物看護学科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			動物形態機能学	様々な動物の基本的な生体構造と、その生命維持に関する機能を学ぶ。さらに各項目ごとに代表的な疾患を学ぶことにより、臨床現場において遭遇する様々な病態への理解を深める。	1 2	90 60	10	○		
○			動物病理学	動物の発病のメカニズムと病理学的特徴を理解する。細胞の損傷、基本病変、免疫異常、浮腫、腫瘍など疾病の原因、発症の機序、病変の広がり、結果が生体に及ぼす影響を病理概論として学ぶ。	2	30	2	○		
○			動物疾病看護学	動物病院で遭遇する代表的な疾患を中心に学ぶ。動物種・品種によって好発する疾患もある。特徴的な症状、ケアの仕方、予防に重点を置く。	1 2	60 90	10	○		
○			動物薬理学	体内動態（薬の投与方法による違い、どのように体に吸収され、移動し、排泄されるか）や動物病院で使用される代表的な薬を中心に学ぶ。	1	30	2	○		
○			動物感染症学	主に犬猫に感染する内部寄生虫、外部寄生虫および微生物について理解し、予防と看護に活かす。	1 2	30 30	4	○		
○			病原体・衛生管理	微生物の特徴と病原微生物を学ぶ。感染様式と予防を理解する。ワクチンの種類と特徴を理解する。	1	30	2	○		
○			動物健康管理	健康な犬や猫に必要な日常のケアと適正な飼育方法について理解し飼い主指導ができる。	1	16	1	○		
○			動物栄養学	基礎的な栄養素を理解し、過不足などで起こりうる問題点を学ぶ。ペットフードに関する基礎知識を理解し適正な取り扱いを学ぶ。処方食と疾患別による栄養特性を理解する。作り食についての理解を深め食性の違いも学ぶ。	1 2	60 16	5	○		

○		動物医療関連法規	動物看護に関わる法律を学び、動物医療業務における法規上での責務と規制事項を理解する。	2	30	2	○		
○		公衆衛生学	"公衆衛生の基本的な考え方を学び、国民の健康増進および人と動物が共生を目指すための予防衛生、動物福祉、環境保全、社会で実践されている公衆衛生業務について理解する。	1	30	2	○		
○		動物繁殖学	生殖器の構造を学ぶ。 性ホルモンと発情、交配、妊娠、出産、産後ケアについて理解する。 生殖器系の疾患も理解する。	1	16	1	○		
○		動物人間関係学	人と動物の絆 (HAB) の理念と動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育など社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与することを目標とする。HABによる人間と動物にもたらす影響とその目的を理解する。	2	30	2	○		
○		動物行動学	犬の発生起源・種類・特徴及び、基本的行動を理解する。 基本的行動、基本的な「しつけ」を理解し、飼育指導に活かす。	1	60	4	○		
○		動物福祉論	生命倫理を基本に人と動物が共生するために必要な倫理学の理念を身につける。 獣医療倫理・動物看護倫理では、動物医療現場で直面する生命倫理について理解を深める。 動物福祉学では、動物福祉を考慮するための基本的理念を理解する。	1	30	2	○		
○		飼養管理学	様々な動物の生態、習性、飼育管理方法、生理、病気、社会的役割等を学び、動物との快適な生活のためのよきアドバイザーとしての責任を理解する。	1 2	106 46	10	○		△
○		動物看護学	チーム医療に基づいた専門職としての看護倫理、業務指針から動物及び飼い主に寄り添った動物看護実践能力と問題解決能力を身につける。	1	15	1	○		
○		臨床動物看護学	主な内科疾患の症状や治療方法を理解し身体的・精神的状況の観点から回復に至るまでの必要な事項を理解する。各疾患に対する外科手術の手順を理解し術後の入院管理や看護の留意点を学ぶ。術後の回復経過を理解し個体に応じた身体的看護法を学ぶ。 皮膚疾患、眼科疾患および歯科疾患の専門的分野の疾病の原因や症状、治療法を学ぶ。	1 2	30 60	6	○		
○		動物入院管理	入院時の個体及び疾患別に応じた看護能力を身につけ飼い主指導に活かす。	2	30	2	○		

○		幼齢動物・老齢動物管理	犬猫の新生子期から幼年期の管理について理解し予防と看護に活かす。また、老齢動物の管理、介護を理解し飼い主に寄り添った在宅看護に活かす。	2	30	2	○		
○		救急救命対応	エマージェンシーとトリアージの基本を理解する。 代表的な緊急疾患の知識を学ぶ。	1	15	1	○		
○		クライアントエデュケーション	人と動物のより良い共生を目指し、専門職の観点から今まで学習した専門知識を活用し啓蒙と個別に応じた飼い主指導に活かす。	2	30	2	○		
○		動物臨床検査学	検体を用いる検査と生体検査の目的と意義を理解し手技に活かす。	1	30	2	○		
○		院内コミュニケーション	社会人として必要な常識・ビジネスマナー・コミュニケーション能力の習得を目的とする。 動物関連業界に適した思いやりを基本とし、受付業務、院内コミュニケーションを身に付ける。	1	76	5	○		
○		動物飼育実習	飼育に必要な、グルーミングの目的と必要性を理解し、グルーミングの基礎技術を習得する。また、基本的な服従訓練方法を理解する。	1 2	60 106	5			○
○		動物看護実習	講義等で学んだ知識を基にした実践として、診療現場に必要な観察力及び看護法に関する基本的手技を身につける。更に、正確性、迅速性も身につける。また、現場に必要なコンピュータの基礎やグルーミングについても身につける。	1 2	150 106	8			○
○		動物臨床検査学実習	臨床検査の目的と意義について理解する。適切な検体処理と顕微鏡の基本動作、便検査、血液検査、細胞診の意義、レントゲン撮影の基本および応用知識、培養検査、超音波検査および心電図検査等を理解し看護実践能力を身につける。	1 2	90 136	7			○
○		外科動物看護実習	基本的な外科手術の流れを理解し、手術準備、麻酔モニタリング、手術助手及び周術期の動物管理を身につける。また、手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践能力を身につける。	1 2	60 30	3			○
○		総合臨床実習	講義・学内実習で学んだ知識と技術を基に、実務経験を通して総合的な動物看護、動物医療が実践できる為の基礎能力を習得する。	1 2	88 144	6			○
○		総合臨床動物看護学	動物病院で必要な知識・技術について復習し、応用できるようになる。	2	120	4			○

	○		総合臨床動物看護学実習	動物看護師として必要な臨床検査技術の習得する。また、臨床検査の内容を理解し応用できるようになる。	2	120	4			○	
	○		総合動物看護実習	講義で学んだ事、グルーミング実践の基礎を理解した上でカットの基本を学び、より高い技術の向上を目指す。	2	240	8			○	
	○		総合動物飼育実習	犬の各個体の性格を見きわめ、接し方、トレーニング方法を決めていく。能力の方向性・可能性によるトレーニングを行う。	2	240	8			○	
合計					32 科目		2,416 時間				